

市場移転に関する関係局長会議 議事録

平成30年5月1日（火）
開会17時00分、閉会17時10分
都庁第一本庁舎7階大会議室

1 開会

（遠藤政策企画局長）

それでは、只今より市場移転に関する関係局長会議を開催いたします。

本日は、千客万来施設の事業者と都側との会談が行われましたので、その状況などについて、まず最初に、長谷川副知事より御発言がございます。

よろしく願いいたします。

2 長谷川副知事発言

（長谷川副知事）

はい、それでは御報告いたします。

本日13時から、千客万来施設事業者である万葉倶楽部株式会社を訪問し、高橋弘会長他の幹部の皆さんとお会いして、築地再開発の検討状況などについて、現在の状況について御説明をしてきたので、その報告をさせていただきます。

本件につきましては、事業実施に向けた事業者の意思を確認する文書をお渡しをし、期限である先月25日付で先方からは、「築地再開発の内容を明らかにしないと、事業実施の判断ができない」といったような御趣旨の回答がございました。

前回のこの会議での報告のとおり、万葉倶楽部さんとの間では、これまで様々な協議を重ねてまいりました。年明けには先方から経済的要件などについての協議をしたい旨のお話があり、早期に結論が得られるよう、年度末を一つの目途として、毎週のようにやり取りを実施するなど、都として出来るだけの対応をしてまいったところでございます。

先月25日までに事業実施に向けた回答をいただきたいと文書をお願いをいたしましたのは、双方でこのように真摯に協議を重ねてまいったという、これまでの経緯を踏まえた対応として行ったものでございます。

その上で、本日は、万葉倶楽部さんの最大の疑問として示された、基本方針と築地再開発をめぐる関係性等につきまして、築地再開発の担当副知事でもあります私から直接説明をさせていただきました。

一昨年8月の豊洲市場への移転延期後に、土壌汚染などの様々な課題に対する検証を行った上で、昨年6月に基本方針を示しましたが、これは、豊洲市場への移転を実現し、築地市場跡地は、オリンピック・パラリンピックで活用した後に再開発する、つまり、豊洲と築地を両方活かすということで、東京の価値を更に高めていくという、大きな方向性を示したものであるということを改めて説明をいたしました。

また、築地を「食のテーマパーク」機能を有する場として再開発するといった表現がご

ございましたが、基本方針は具体的な施設を示すものではございませんで、大きな方向性を示したものであるということでございますので、こういった表現によりまして千客万来施設の事業環境を阻害するかのような誤解を与えてしまいましたが、都としては、そうしたつもりは全くなく、食のテーマパークは再開発の一つの考えでありまして、その他の様々な可能性も含めて今後検討していくものであるということ、その際には千客万来施設事業のコンセプトとの両立や、相乗効果を図っていくことなどについて、改めて御説明をしたところでございます。

築地市場の跡地につきましては、以前から再開発をする方向でございまして、現在はその具体像をつくるために検討を進めている段階であること、このため、23haの都民の将来に向けた共有財産であるといったようなことも含めて、現時点で再開発の具体的な姿をお示しすることはできませんが、築地再開発に当たっては、千客万来施設事業の前提を覆すような状況は生じさせないように都として対応するため最大限に配慮すること、千客万来施設のコンセプトとの両立や、相乗効果を図ることなどにつきまして、しっかりと取り組んでいくことなどを申し上げてまいりました。

本日、この会談には知事が駆けつけていただき、御参加いただきまして、高橋会長他の皆様に対して、千客万来施設事業を共に進めていきたいという都の姿勢を伝えていただきました。

これに対して、万葉倶楽部さんからは、基本方針や築地再開発をめぐる疑問について、様々な御意見を頂戴いたしました。私どもとしても精一杯説明に努めたところですが、万葉倶楽部さんとの間で認識には、なお開きがあるところでございます。

引き続き御理解いただけるよう努力を積み重ねてまいります。こうした協議につきましては、一定の期限をもって判断をせざるを得ないということもございます。このため、本日の会談を踏まえ、必要な調整を行った上で、改めて事業実施に向けて最終的な判断を示していただけるよう、お願いすることとしたいと考えております。

私からは、以上でございます。

3 知事発言

(遠藤政策企画局長)

ありがとうございました。引き続き知事から御発言がございました。

(小池知事)

只今長谷川副知事から、先ほど小田原の万葉倶楽部本社で行われました高橋会長との会談の状況について報告をしていただきました。私自身、昔から父が必要な時は自ら出向けという話をしておりましたので、今日はこの会談に私自身が参加をしたということでございます。

先週、関係局長会議で報告がありましたように、千客万来施設事業の事業者であります万葉倶楽部株式会社とは、この間に様々な協議を進めてきたところであります。職務の担当者の皆さんも本当に御苦勞様でございます。特に、この基本方針、それから築地再開発を巡っては、千客万来施設事業のコンセプトの両立、そして相乗効果を図ることなどに

については、私からも何度も議会の場や記者会見の場等々で発信をして、これまでも丁寧な説明を積み重ねてきたところがございます。

本日、直接高橋会長ともお会いをして、そして先方から特に疑問を示されておりました築地再開発について、実務的な責任者である長谷川副知事から直接説明をしていただいたところでもあります。

今日私自身が行ったわけでございますけれども、食のテーマパークというのは再開発の一つの考えであるという旨、さらには千客万来施設の事業環境を阻害するような誤解をこれまで与えてしまったことについては陳謝をいたしました。その上で、千客万来施設事業に対しての都の思いを伝えまして、事業の成功に向けて、万葉倶楽部さんの御協力をいただきたい、ということをお願いをいたしました。会長からは、厳しいお言葉もありましたけれども、私どもの姿勢を理解していただけるように、知事、そして副知事、市場長、担当の部長あわせまして努めてまいったところがございます。

引き続き、誠意をもって理解を得られるように取り組んでまいりますが、一方で、時間的な制約も考慮しなければなりません。本日は、先方からいくつかの御要望がございました。例えば、建設コストを抑制出来る建設業者を紹介してほしいとかテナントリーシングへの協力など、具体的な御要望もいただいてまいりました。建設業者の紹介というのは、都とすれば行政としてどこまでできるかというところかなり難しい点もございますが、必要な事項については早急に調整を進めて、最終的な判断をいただけるように、進めてもらいたいと考えております。

そしてまた、千客万来施設事業は、豊洲ならではの活気やにぎわいを生み出す重要な事業であることは改めて言うまでもございません。先ほど江東区長とも連絡を取りまして、私から本日の状況については御連絡を差し上げております。地元江東区からはこれまでも強い要請を受けておりまして、早期の実現に向けまして、引き続き、関係局連携をして、精力的に取り組むよう、本日のこの会議のメンバーの皆さんによりしくお願いを申し上げたいと思います。以上です。

4 閉会

(遠藤政策企画局長)

ありがとうございました。

この際ですから何か御意見などがありましたらお願いをいたします。

よろしいでしょうか。なければ本日の会議は以上となります。それではこれで閉会とさせていただきます。ありがとうございました。